

学 年 6年 3組
氏 名 坂下 雫
住 所 北佐久郡軽井沢町長倉3734
電 話 0267-45-5189
学校名 軽井沢中部小学校
メールアドレス 中山 nakayama-atsushi@sakuedu.or.jp

題 名 電気との関わり方

本 文 20行程度

私達は毎日、電気と共に生活をしています。例えばエアコンを使うとき、ゲームをするときなど、たくさんの電気を使っています。そこで皆さんは、「節電」という言葉を聞いたことがありますか。節電とは、電気を節約することを言います。電気を使うととても楽ですが、いいことばかりではありません。電気をたくさん使うということは、たくさん発電することになってしまいます。発電をしすぎてしまうと地球温暖化がより進んでしまいます。日本の電気やエネルギーの多くは外国の資源に頼っています。日本国内でも資源は手に入りますが、その量はとても少ないため、日本の電気やガスなどの多くは、そのもととなる資源を外国からの輸入に頼っています。でも、資源だって使えば使った分少なくなります。しかも、外国でとれた資源を使っているのは日本だけじゃありません。資源が取れる国で使うのはもちろん、他の国も輸入に頼っていることがあります。例えばガソリンの元である石油は世界中でたくさんとれるわけではありませんが、世界中の国で使われています。火力発電に必要な天然ガスや石炭、石油も同じです。無限にあるわけではない資源を世界中で使い続けるということは、いつか資源を使い切ってしまうことにつながります。資源を使い切ってしまうということは、発電ができなくなり、電気が使えなくなってしまいます。このように電気を自由に使いすぎてしまうと、地球温暖化がより進んだり、資源が底を尽きてしまうということがおきてしまいます。だからといって、電気を一切使わないで生活などできませんよね。そこで、最初に言った「節電」が大切になります。節電は身の回りでできるものもたくさんあります。私はその方法を4つ考えてみました。

1つ目は、学校でできるものです。昼間など、教室がある程度明るいときは電気を消すようにする方法です。2つ目は、移動教室があるときは電気を必ず消してから移動するようにするやり方です。電気係など、電気を消す人を決めれば消すようになると思います。3つ目は、家庭でできる節電方法です。人がいない部屋の電気は必ず消しておくことです。4つ目は、エアコンの使い方を工夫することです。一日中エアコンをつけっぱなしにしないなどの工夫をするととても節電になります。このように学校や家庭など、身の回りでも節電をすることができます。小さなことでもやるのとやらないのじゃ全然違います。なので、小さなことからでいいので、みなさんのも、節電をやってみてはいかがでしょうか。